

<令和 2、3 年救命救急センターの充実段階評価の対応>

○令和 2 年救命救急センターの充実段階評価

日本救急医学会が行ったアンケートの結果、新型コロナウイルス感染症の影響があると示唆された 16 項目を除外して評価。

○令和 3 年救命救急センターの充実段階評価

令和 2 年の充実段階評価において除外した 16 項目のうち、研究で有意とされた 7 項目と、他の項目と異なり直近 3 年間の実績で評価する必要がある評価項目 28「脳死判定及び臓器・組織提供のための整備等」を加えた、8 項目を除外して評価する方針としたが、項目 7.2 の「地域貢献度」についても今般の新型コロナウイルス感染症の影響を受けており除外すべきと考えられたため、当該項目を追加した 9 項目を除外して評価。(※)

※ 項目 7.2「地域貢献度」：地域内の重篤患者数を診察している割合であって、所管地域人口当たりの当該施設に搬送された重篤患者数を全国総人口当たりの全国重篤患者数で除すことで算定する。(地域貢献度(地域内の重篤患者を診察している割合=所管地域人口当たり当該施設に搬送された重篤患者数/全国総人口当たり全国重篤患者数)が 0.5 以上：2 点)

<令和 4 年救命救急センター充実段階評価の対応>

○令和 4 年救命救急センター充実段階評価

令和 4 年救命救急センター充実段階評価においては、全ての項目を原則除外せずに評価を行うこととした。

一方、地域の実情によっては、新型コロナウイルス感染症診療に特化するなどの役割を担うことによって、救命救急センターが本来担うべき機能の一部を十分に果たすことができなかつた医療機関も想定されるため、全 300 施設の内希望する 48 施設に対しては、令和 3 年の評価において除外対象とした 9 項目について、都道府県を通して、当該施設の役割や貢献度等を含めて個別に新型コロナウイルス感染症の影響に関してヒアリングを実施することとした。